

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 2 月 23 日

事業所名 ネクストステップ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			長期休暇中には児童発達支援と放課後等デイサービスの利用者が利用するため普段と比べ人数が多くスペースが狭く感じることがありますが、活動内容などを工夫しながら対応しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			状況によっては、職員が不足しそうな場面もありますが活動内容や環境調整を行いながら対応できていると思います。また、送迎などで人員が少なくなることが予想される場合には他事業所から職員に運転業務などを手伝ってもらっています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			予定や部屋の使い方をイラストで示しています。室内は車いすを利用できるようにバリアフリーになっています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			全職員で振り返りを行い、共有しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者等向け評価表を活用し毎年アンケートを実施しています。その結果を基に、業務内容を見直しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			評価結果をホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		今後、外部評価受診に向けて検討していきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			社会福祉協議会や県の発達障害者支援センター・外部機関の研修に参加しています。	
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			モニタリングにてアセスメントを行い、多職種で共有し計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			施設内で作成したアセスメントシートを利用しています。	事業所内で作成したアセスメントシートを利用していますが、支援している内容を反映することが難しく活用しきれないこともあります。そのため、今年度はキッズを使った評価を実施するなど評価方法を模索しながら自分たちにとって使いやすいように工夫していきたいと思っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			月1回以上、保育士・OTで集まり計画の立案を行っています。	多職種の強みを生かし、様々なアイデアを出し合っていきたいと思っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節の遊びや運動、集団ゲーム、お出かけなど色々なバリエーションのある活動を意識してプログラムを計画しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			利用時間に応じて集団活動や個別支援、おでかけやクッキングなどの活動を設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			モニタリングを通してアセスメントを行いながら、必要な支援を行えるように個別活動と集団活動を組み合わせるように意識しています。	引き続き、職員間で支援内容についてカンファレンスを行い計画を作成していきたいと思っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			当日の支援開始前に、活動内容や職員の動きを確認しています。長期休暇期間は、主に事前に書面にて活動内容を共有し支援開始前に最終的な確認を行っています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 2 月 23 日

事業所名 ネクストステップ

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			当日は難しいことが多いですが、翌日には振り返りを行っています。また、些細なことでも記録に残し申し送るよう心がけています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			実施した支援内容を記録に残し整備しています。なるべく些細なことでも記録するよう心がけています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			カンファレンスを通して利用者の情報共有を行っています。6カ月に1回以上の頻度でモニタリングを行い支援計画の振り返りや修正を行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	○			ガイドラインを参照しながら支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			会議の内容に応じて、出席者を相談し決めています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			年度初めに学校とおたよりや送迎時間などについてどのようにやり取りを行うか相談しています。適宜、送迎時などに先生から申し送りを受け対応しています。	
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			利用開始までに、家族を通して主治医に緊急時の対応方法や緊急時の連絡方法を確認しています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			児童発達支援事業所を利用されている場合には、利用前のサービス担当者会議にて情報収集を行っています。また、発達支援センターや保育園、リハビリなどの様子は相談員や保護者から聴取しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		該当者がいないため判断できません。	適宜、相談支援員や次に利用される事業所へ申し送りを行い連続した支援を行えるように準備していきたいと思っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			支援方法など発達支援センターに適宜相談し助言を受けています。また、発達支援センターなどの研修に参加したり石川県のアドバイザー派遣事業も受けています。	引き続き、積極的に連携・相談を行い支援内容を充実させていきたいと思っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			感染対策の為、ZOOMにて事業所に併設されている放課後児童クラブと合同でクリスマス会を開催しました。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			能美市子ども連絡会や事業所連絡会、能美地域自立支援協議会に定期的に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎時、モニタリングの機械を通して利用時の様子や家庭での様子など情報共有を行うように努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			姿勢や遊びに関すること、生活場面において出来るようなこと(自具の提案)など必要に応じて支援を行っています。	引き続き、研修などに参加し困りごとへの対応方法の助言など適切な保護者支援を職員皆が出来るよう知識を深めていきたいと思っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用開始前に説明を行っています。また、施設内に掲示しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			連絡帳や送迎時、モニタリングなどの場面で適宜対応するよう心がけています。	引き続き、支援をしていけるように自己研鑽を行います。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 2 月 23 日

事業所名 ネクストステップ

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者会を開催し、保護者同士話し合う機会を設けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			早急に対応できるように事業所内で連絡体制を整えています。必要に応じてミーティングを行い職員間で共有しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月「おたより」を発行し、活動内容や予定をお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			関連機関と情報共有を行う際には、家族に了承を得ています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			必要に応じて、絵カードやジェスチャーなどを使い意思疎通を図るように努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	今年度はコロナ禍のためイベントの開催が難しかったです。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			契約時に説明を行っています。また、感染が流行している時期などには感染症にかかった際の対応についてお知らせを渡しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎月実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			石川県主催の研修に参加し伝達講習を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			○	該当者がいないため、判断できません。必要時に対応できるようにマニュアルを作成しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食物アレルギーがある場合には、医師に書類を記載してもらい提出してもらっています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット・事故報告書を作成し、事業所内で共有し対応策を立てています。	些細なことでも情報共有を行い対応策を考えて行きたいと思います。